



最 高 潮

文責 校長 古賀 弘行

【本年度の生徒会スローガン】

共創～主体的に行動し、
活気あふれる学校～

【6月27日（土）28日（日）中体連ブロック大会：どの部も全力を尽くしました】



6月の第4週は、連日雨が続き、6月26日から予定されていた中体連のブロック大会は、1日延期になりました。27日（土）は、久しぶりに朝日がでて、大会日和となりました。この大会を目標に、運動部は、3年生を中心に日々、練習を積み重ねてきました。そして、どの部も最後まで諦めずに全力を尽くしました。

地区大会への出場を決めた部は、以下の通りです。運動部の3年生にとっては、最後の大会になります。悔いの残らないよう精一杯最後まで闘ってほしいです。

地区大会出場決定	ブロック大会の成績	地区大会開催日	地区大会の場所
軟式野球	2位	7月11日（土）、12日（日）	八女市岡山球場
ソフトテニス	男子団体3位・個人3位 女子個人5位	18日（土）、19日（日）	朝倉甘木テニスコート
サッカー	2位	18日（土）、19日（日）	1日目 久留米東部運動公園 2日目 大刀洗運動公園
バレー	4位	22日（火）、23日（水）	久留米アリーナ

【7月1日（水） 3年生：英語で柳川高校の留学生と交流しました】



3年生の英語の授業で、柳川高校の留学生10名を迎え、交流を行いました。小グループに留学生を1人ずつ迎えて、事前に考えた質問をしながら英会話を楽しみました。

最初は緊張した様子も見られましたが、「Hello.」と笑顔で握手を交わして交流を始めると、教室はすぐに和やかな雰囲気になりました。好きな食べ物や趣味などの話題では、「住んでいる国は違っても好きなものは同じ!」と会話が弾み、日本とは異なる食文化については驚きの声がかかる場面もありました。今回の交流を通して、生徒たちは「英語が通じた」という喜びや自信を実感するとともに、「もっと英語で伝えられるようになりたい」という意欲を高めることができました。この経験を、これからの英語学習につなげていってほしいと思います。

【7月8日（水）・9日（木） 1、2年生：ダンスワークショップ】

7月10日（金）に、世界を代表するダンサーが参加する「福岡ダンスエクステンジ2026」が柳川市民文化会館（17時開始：入場無料）で開催されます。そのダンサーたち（シンガポール、フランス、ブルキナファソ）が、特別に柳城中学校の1、2年生の各クラスの体育の時間に参加して、創作ダンスを披露し、一緒に身体表現を楽しみました。ダンサーに合わせて、生徒は思うままに体を動かし、気持ちよい汗を流しました。

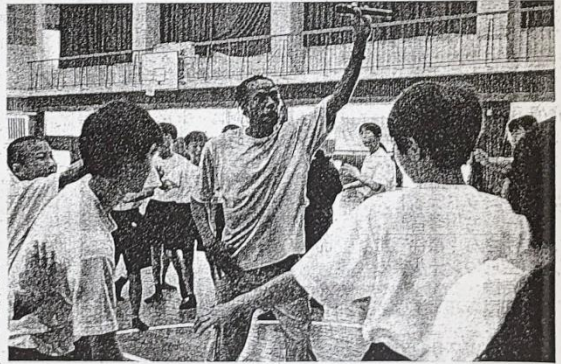


柳川

現代舞踊 魅力伝える

中学、高校生 10日の祭典前に体験

10日から柳川市で開かれるコンテンポラリーダンス(現代舞踊)の祭典「福岡ダンスエクステンション2026」を前に、市内で地元



生徒たちと一緒にダンスをするサヌさん

の中高生を対象にしたワークショップが行われている。祭典に出演するアルキナファソのエマニエル・サヌさんが生徒たちと交流しながら、全身を動かす躍動感あるダンスを楽しみ、魅力を伝えた。

現代舞踊は、既存の型に当てはまらない新しいダンス。内面からあふれ出る感情や社会へのメッセージなどを体で表現する。1950年代のほぼ同時期に西欧や日本で誕生した。世界各国に広まり、独自のスタイルが生まれている。日本では近年、新進鋭のアーティストが登場するなどして再び注目を集めている。

この祭典は、多くの人に現代舞踊の魅力に触れてほしいと開催。ワークショップは8、9日に柳城中学校と柳川高校で行われ、この

うち8日は柳城中の1年生が体験。サヌさんが腕を掲げたり、体をひねってポーズを決めたりしつつ、体育館内を縦横に動き回った。生徒もそのダンスをまねて、自由な踊りに笑顔が広がった。参加した山田あかりさん(12)はヒップホップダンスを習っているといい「今日のダンスは決まりがなく、一人一人違った踊りができて楽しかった。祭典も見に行きたい」と話していた。

祭典は午後5時から同7時まで、市民文化会館「水都やながわ」で開催。入場無料。サヌさんをはじめ、フランスやシンガポールのトップクラスのダンサーが参加。九州を拠点に活動するダンサーでつくるFDXスペシャルエディションも登場する。

(牛島亮介)